

ニチイ訪問看護ステーション

指定訪問看護【指定介護予防訪問看護】事業運営規程

(事業の目的)

第1条 株式会社ニチイナースが設置するニチイ訪問看護ステーション(以下「事業所」という。)において実施する指定訪問看護【指定介護予防訪問看護】事業(以下「事業」という。)の適正な運営を確保するために必要な人員及び運営管理に関する事項を定め、指定訪問看護【指定介護予防訪問看護】の円滑な運営を図るとともに、利用者の意思及び人格を尊重し、要介護状態(介護予防にあつては要支援状態)の利用者の立場に立った適切な指定訪問看護【指定介護予防訪問看護】の提供を確保することを目的とする。

(指定訪問看護の運営の方針)

- 第2条 事業所が実施する事業は、利用者が要介護状態となった場合においても、可能な限りその居宅において、自立した日常生活を営むことができるように配慮して、その療養生活を支援し、心身機能の維持回復を図るものとする。
- 2 利用者の要介護状態の軽減若しくは悪化の防止に資するよう、その療養上の目標を設定し、計画的に行うものとする。
 - 3 利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努めるものとする。
 - 4 事業に当たっては、利用者の所在する市町村、居宅介護支援事業者、地域包括支援センター、保健医療サービス及び福祉サービスを提供する者との連携に努めるものとする。
 - 5 指定訪問看護の提供に当たっては、介護保険法第118条の2第1項に規定する介護保険関連情報その他必要な情報を活用し、適切かつ有効に行うよう努めるものとする。
 - 6 指定訪問看護の提供の終了に際しては、利用者またはその家族に対して適切な指導を行うとともに、主治医及び居宅介護支援事業者へ情報の提供を行うものとする。
 - 7 前6項のほか、「豊中市指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例」(平成24年豊中市条例第69号。以下、居宅サービス条例という)に定める内容を遵守し、事業を実施するものとする。

(指定介護予防訪問看護運営の方針)

- 第3条 事業所が実施する事業は、利用者が要支援状態になった場合においても、可能な限りその居宅において、自立した日常生活を営むことができるように配慮して、その療養生活を支援し、心身機能の維持回復を図るものとする。
- 2 利用者の介護予防に資するよう、その目標を設定し、計画的に行うものとする。
 - 3 事業の実施に当たっては、利用者の心身機能、環境状況等を把握し、介護保険以外の代替サービスを利用する等効率性・柔軟性を考慮した上で、利用者の意思及び人格を尊重し

ながら、利用者のできることは利用者が行うことを基本としたサービス提供に努めるものとする。

- 4 事業の実施に当たっては、利用者の所在する市町村、居宅介護支援事業者、在宅介護支援センター、地域包括支援センター、他の居宅サービス事業者、保健医療サービス及び福祉サービスを提供する者との連携に努めるものとする。
- 5 指定訪問看護の提供に当たっては、介護保険法第 118 条の 2 第 1 項に規定する介護保険関連情報その他必要な情報を活用し、適切かつ有効に行うよう努めるものとする。
- 6 指定介護予防訪問看護の提供の終了に際しては、利用者またはその家族に対して適切な指導を行うとともに、主治医及び地域包括支援センターへ情報の提供を行うものとする。
- 7 前 6 項のほか、「豊中市指定介護予防サービス等の事業の人員、設備及び運営並びに指定介護予防サービス等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例」(平成 24 年豊中市条例第 73 号。以下、介護予防サービス条例という。)に定める内容を遵守し、事業を実施するものとする。

(事業の運営)

第 4 条 指定訪問看護[指定介護予防訪問看護]の提供に当たっては事業所の看護師等によってのみ行うものとし、第三者への委託は行わないものとする。

(事業所の名称等)

第 5 条 事業を行う事業所の名称及び所在地は、次の通りとする。

- (1) 名 称 ニチイ訪問看護ステーション
- (2) 所在地 豊中市服部元町 2 丁目 6 番 7 号シニアスク-ルポプラ服部天神 301 号

(従業者の職種、員数及び職務の内容)

第 6 条 事業所における従業者の職種、員数及び職務は次の通りとする。

- (1) 管理者 看護師 1 名 (看護職員と兼務)

管理者は、主治医の指示に基づき適切な指定訪問看護[指定介護予防訪問看護]が行われるよう必要な管理及び従業者の管理を一元的に行うとともに、法令等において規定されている指定訪問看護[指定介護予防訪問看護]の実施に関し、事業所の従業者に対し遵守すべき事項についての指揮命令を行う。

- (2) 看護職員 71 名

看護師 67 名 (常勤 17 名 (内 1 名管理者と兼務)、非常勤 50 名)

准看護師 4 名 (常勤 1 名、非常勤 3 名)

看護職員は、主治医の指示による訪問看護(介護予防訪問看護)計画に基づき指定訪問看護[指定介護予防訪問看護]に当たる。

- (3) 理学療法士 7名(常勤7名 (内1名事務職員と兼務)、非常勤0名)
 - (4) 作業療法士 1名(常勤1名、非常勤0名)
 - (5) 事務職員 6名(常勤5名 (内1名理学療法士と兼務)、非常勤1名)
- 必要な事務を行う。

(営業日及び営業時間)

第7条 事業所の営業日及び営業時間は、次の通りとする。

- (1) 営業日 月曜日から土曜日までとする。
ただし、祝日、12月30日から1月3日までを除く。
- (2) 営業時間 午前9時から午後6時までとする
- (3) サービス提供時間 午前9時から午後5時とする。
- (4) 上記の営業日、営業時間、サービス提供時間のほか、電話等により24時間常時連絡が可能な体制とする。

(指定訪問看護 [指定介護予防訪問看護]の内容)

第8条 事業所で行う指定訪問看護[指定介護予防訪問看護]は、利用者の心身の機能の維持回復を図るよう妥当適切に行うことを目的として、次に掲げる事業を行う。

- (1) 訪問看護(介護予防訪問看護)計画書の作成及び利用者またはその家族への説明

利用者の希望、主治医の指示及び心身の状況を踏まえて、療養上の目標、当該目標を達成するための具体的なサービス内容を記載

(サービス内容の例)

- ① 病状・障害の観察
- ② 清拭・洗髪等による清潔の保持
- ③ 食事および排泄等日常生活の世話
- ④ 床ずれの予防・処置
- ⑤ リハビリテーション
- ⑥ ターミナルケア
- ⑦ 認知症患者の看護
- ⑧ 療養生活や介護方法の指導
- ⑨ カテーテル等の管理
- ⑩ その他医師の指示による医療処置

- (2) 訪問看護(介護予防訪問看護)計画書に基づく指定訪問看護[指定介護予防訪問看護]

- (3) 訪問看護 (介護予防訪問看護)報告書の作成

(指定訪問看護の利用料等)

第9条 指定訪問看護を提供した場合の利用料の額は、介護報酬 告示上の額とし、そのサービスが法定代理受領サービスであるときは、利用者のうち各利用者の負担割合に応じた額の支払いを受けるものとする。

なお、法定代理受領以外の利用料については、「指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準」(平成12年2月10日厚生省告示第19号)によるものとする。

2 指定介護予防訪問看護を提供した場合の利用料の額は、介護報酬の告示上の額とし、そのサービスが法定代理受領サービスであるときは、利用者のうち各利用者の負担割合に応じた額の支払いを受けるものとする。なお、法定代理受領以外の利用料については、「指定介護予防サービスに要する費用の額に算定に関する基準」(平成18年3月14日厚生労働省告示第127号)によるものとする。

3 次条に定める通常の事業の実施地域を超えて行う事業に要する交通費は、その実費を徴収する。なお、自動車を使用した場合の交通費は、次の額とする。

(1) 通常の事業の実施地域を超えてから、片道5キロメートル未満 500円

(2) 通常の事業の実施地域を超えてから、片道5キロメートル以上 1,000円

4 前3項の利用料等の支払いを受けた時は、利用者又はその家族に対し、利用料とその他の利用料(個別の費用ごとに区分)について記載した領収証を交付する。

5 指定訪問看護[指定介護予防訪問看護]の提供の開始に際し、あらかじめ、利用者又はその家族に対し、利用料ならびにその他の利用料の内容及び金額に関し事前に文書で説明した上で、支払いに同意する旨の文書に署名(記名押印)を受けるとする。

6 法定代理受領サービスに該当しない指定訪問看護[指定介護予防訪問看護]に係る利用料の支払いを受けた時は、提供した指定訪問看護[指定介護予防訪問看護]の内容、費用の額その他必要と認められる事項を記載したサービス提供証明書を利用者に対して交付するものとする。

(保険給付外の自費サービス提供について)

7 当事業所は、介護保険及び医療保険に基づく訪問看護サービスに加え、利用者の希望に応じて保険給付外の自費サービス(自由契約)を提供することがあります。

8 自費サービスは、保険給付の対象である訪問看護とは明確に区分して提供し、同一訪問内で混在させないものとします。

9 自費サービスの内容・料金・契約方法等は「保険外有料サービス利用契約書」「別紙1(保険外サービス内容説明書)」に示し、利用者へ事前に十分な説明を行った上で、利用者または家族の同意を得て提供します。

(出張所の名称等)

第10条 出張所の名称及び所在地は次のとおりとする。

出張所名称： ニチイ訪問看護ステーション蛍池

出張所所在地：〒560-0003

豊中市蛍池中町4丁目2-9サニーマンション303号

TEL080-3734-2253

(通常の事業の実施地域)

第11条 通常の事業の実施地域は、豊中市、池田市、箕面市、吹田市、茨木市、大阪市全域、川西市、伊丹市、尼崎市、能勢町、豊能町、枚方市の区域とする。

(業務継続計画の策定等)

第12条 事業所は、感染症や災害発生時において、利用者に対する指定訪問看護〔指定介護予防訪問看護〕の提供を継続的に実施するための、及び非常時の体制で早期の業務再開を図るための計画（以下「業務継続計画」という。）を策定し、当該業務継続計画に従い必要な措置を講ずるものとする。

2 事業所は、看護師に対し、業務継続計画について周知するとともに、必要な研修及び訓練を定期的実施するものとする。

3 事業所は、定期的に業務継続計画の見直しを行い、必要に応じて業務継続計画の変更を行うものとする。

(衛生管理等)

第13条 看護師等の清潔の保持及び健康状態の管理を行うとともに、事業所の設備及び備品等の衛生的な管理に努めるものとする。

2 事業所において感染症が発生し、又はまん延しないように、次の各号に掲げる措置を講じるものとする。

(1) 事業所における感染症の予防及び、まん延の防止のための対策を検討する委員会（テレビ電話装置その他の情報通信機器（以下「テレビ電話装置等」という。）を活用して行うことができるものとする。）をおおむね6月に1回以上開催するとともに、その結果について、看護師等に周知徹底を図ること。

(2) 事業所における感染症の予防及び、まん延の防止のための指針を整備すること。

(3) 事業所において、看護師等に対し、感染症の予防及びまん延の防止のための研修及び訓練を定期的実施すること。

(緊急時等における対応方法)

- 第14条 指定訪問看護[指定介護予防訪問看護]の提供を行っている時に、利用者に病状の急変、その他緊急事態が生じた時は、必要に応じて臨機応変の手当てを行うとともに、速やかに主治医に連絡を行い、指示を求める等の必要な措置を講じるとともに、管理者に報告する。主治医への連絡が困難な場合は、緊急搬送等の必要な措置を講じるものとする。
- 2 利用者に対する指定訪問看護[指定介護予防訪問看護]の提供により事故が発生した場合、市町村、当該利用者の家族、当該利用者に係る居宅介護支援事業者等に連絡するとともに、必要な措置を講じるものとする。
 - 3 利用者に対する指定訪問看護[指定介護予防訪問看護]の提供により賠償すべき事故が発生した場合には、損害賠償を速やかに行うものとする。

(苦情処理)

- 第15条 指定訪問看護[指定介護予防訪問看護]の提供に係る利用者からの苦情に迅速かつ適切に対応するために、必要な措置を講じるものとする。
- 2 事業所は、提供した指定訪問看護[指定介護予防訪問看護]に関し、介護保険法第23条の規定により市町村が行う文書その他の物件の提出もしくは提示の求め又は当該市町村の職員からの質問もしくは照会に応じ、及び市町村が行う調査に協力するとともに、市町村から指導または助言を受けた場合は、当該指導または助言に従って必要な改善を行うものとする。
 - 3 事業所は、提供した指定訪問看護[指定介護予防訪問看護]に係る利用者からの苦情に関して国民健康保険団体連合会の調査に協力するとともに、国民健康保険団体連合会から指導または助言を受けた場合は、当該指導または助言に従って必要な改善を行うものとする。

(個人情報の保護)

- 第16条 事業所は、利用者の個人情報について「個人情報の保護に関する法律」及び厚生労働省が策定した「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドランス」を遵守し適切な取扱いに努めるものとする。
- 2 事業者が得た利用者の個人情報については、事業者での介護サービスの提供以外の目的では原則的に利用しないものとし、外部への情報提供については必要に応じて利用者またはその代理人の了解を得るものとする。

(虐待防止に関する事項)

第17条 事業所は、利用者の人権の擁護・虐待等の防止のため次の措置を講じるものとする。

- (1) 虐待を防止するための従業者に対する研修の実施
- (2) 利用者及びその家族からの苦情処理体制の整備
- (3) その他虐待防止のために必要な措置

2 事業所は、サービス提供中に、当該事業所従業者または養護者(利用者の家族等高齢者を現に養護する者)による虐待を受けたと思われる利用者を発見した場合は、速やかに、これを市町村に通報するものとする。

(身体的拘束等の原則禁止)

第18条 事業所は、サービス提供に当たっては、利用者又は他の利用者の生命または身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体拘束その他利用者の行動を制限する行為(以下「身体拘束等」という。)を行ってはならない。

2 事業所は、やむを得ず前項の身体拘束等を行う場合には、その態様及び時間、その際の心身の状況並びに緊急やむを得ない理由など必要な事項を記載することとする。

(地域との連携等)

第19条 事業所は、事業所の所在する建物と同一の建物に居住する利用者に対して指定訪問看護〔指定介護予防訪問看護〕を提供する場合には、当該建物に居住する利用者以外の者に対しても指定訪問看護〔指定介護予防訪問看護〕の提供を行うよう努めるものとする。

(その他運営に関する留意事項)

第20条 事業所は、従業者の資質向上のために研修の機会を次の通り設けるものとし、また、業務の執行体制についても検証、整備する。

(1) 採用時研修 採用後1ヵ月以内 (OJTに準じ評価シート活用、1ヵ月後、2ヵ月後、3ヵ月後、6ヵ月後、1年後)

(2) 継続研修 年1回

2 事業所は、適切な指定訪問看護〔指定介護訪問看護〕の提供を確保する観点から、職場において行われる性的な言動又は優越的な関係を背景とした言動であって業務上必要かつ相当な範囲を超えたものにより看護師等の就業環境が害されることを防止するための方針の明確化等の必要な措置を講じるものとする。

3 従業者は、業務上知り得た利用者またはその家族の秘密を保持する。

4 従業者であった者に、業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を保持させるため、従業者でなくなった後においてもこれらの秘密を保持する旨を、従業者との雇用契約の内

容とする。

- 6 事業所の従業者に、その同居の家族である利用者に対する指定訪問看護[指定介護予防訪問看護]の提供をさせないものとする。
- 7 事業者は、指定訪問看護[指定介護予防訪問看護]に関する豊中市指定居宅サービス等基準条例及び豊中市指定介護予防サービス等基本条例で定める記録を整備し、その完結の日から5年間保存するものとする。
- 8 この規程に定める事項の外、運営に関する重要事項は株式会社ニチイナースと事業所の管理者との協議に基づいて定めるものとする。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

改訂 平成30年8月1日から施行する。

改訂 令和元年6月1日から施行する。

改訂 令和元年9月1日から施行する。

改訂 令和元年10月1日から施行する。(介護報酬改定に伴う形式的変更のみ)

改訂 令和2年3月1日から施行する。

改訂 令和2年4月1日から施行する。

改訂 令和3年4月1日から施行する。

改訂 令和5年9月1日から施行する。

改訂 令和6年4月1日から施行する。

改定 令和7年10月1日から施行する。

改訂 令和7年11月15日から施行する。